

令和3年度林野庁国有林間伐・再造林推進コンクールで優秀賞を受賞した（有）庄司林業に賞状を伝達しました

「令和3年度国有林間伐・再造林推進コンクール」において当署管内にある大江町の有限会社庄司林業様が優秀賞を受賞され、令和4年2月25日（金）に山形森林管理署において林野庁長官からの賞状を伝達しました。

国有林間伐・推進コンクールは、国有林野事業で実施した間伐、主伐・再造林及び立木販売において、法令の遵守、安全の確保及び担い手の育成に積極的に取り組むとともに、高い生産性を達成した優れた事例を表彰するもので、本年度は、令和3年11月26日に林野庁で開催した審査委員会において、全国の各森林管理局から推薦された事例を対象に審査が行われ、林野庁長官表彰として最優秀賞に1事業体、優秀賞に4事業体が決定されたものです。

優秀賞を受賞した同社は、当署が発注した間伐事業を実行する中で、「UAVレーザー測量を活用した林地情報取得による生産性の向上と地位判定による適地適木を核とした民有林施業への応用実証、ワークライフバランスの質の向上」をテーマに、間伐の事前調査として小型無人機ドローンによるレーザー測量を導入して作業の効率化を図ったことや、従業員の負担軽減によって有給休暇の取得率が向上したことなどが林野庁において評価されました。

当日は、同社から庄司樹社長、鈴木雅也次長が来署され、庄司社長からは、「ドローンレーザー測量の導入により詳細な地形や樹木の本数を把握できるようになり、現地調査の労働生産性が導入以前に比べ約1.7倍となり、従業員の負担軽減につながったことにより有給休暇の取得率も約1.3倍となった。今後も効率化に努め、胸を張って働ける会社づくりをしていきたい」とコメントを頂戴しました。

当署では、引き続き、林業事業体の育成強化を図りながら、国有林をフィールドとして新しい取組への応援に努めていく考えです。



令和3年度国有林間伐・再造林推進コンクール表彰事例の概要

優秀賞 撤出間伐部門 有限会社庄司林業(山形県村山郡大江町)

UAVレーザー測量を活用した林地情報取得による生産性の向上と地位判定による適地適木を核とした民有林施業への応用実証、ワークライフバランスの質の向上

○ UAVレーザー測量データを活用することにより
 ① 事業地の正確な立木本数、立木密度、地形データ、既設作業道の線形を把握し、現地踏査に係る労働生産性が前年比167%に向上
 ② 「わからないから見る、見ながら対応を考える」から「わかった上で予め対応策を視野に入れて見る」という視点で新設作業道の線形を効率的に計画
 ③ 今般、林況データを活用して地位を推定し、適地適木を考慮した再造林のメリットを森林所有者(民有林)に提案することも検討

○ 作業システムの工夫・多能工化を推進したことにより、ワークライフバランスの質の向上に繋がったことにより、有給取得率が前年比130%以上の向上

作業システム・生産性・生産コスト

フェラーハンチャ付きグラブバケットを導入し、伐倒、木寄せ、作業道作設を一人のオペレーターで行える体制を整え、サイクルタイムを短縮したことにより生産性が向上した(112%)。

○生産性:9.4m³/人日
 ○生産コスト:5,094円/m³

作業システムと工程別生産性	森林作業道	伐倒・木寄せ集材	造材	集積	巻立
使用機械	フェラーハンチャ付きグラブバケット等	フェラーハンチャ付きグラブバケットチェーンソー	ハーベスタ	フォワーダ	グラブ
人員配置	1人	2.5人	1人	1.5人	1人
生産性	101m ³ /人日	28m ³ /人日	69m ³ /人日	44m ³ /人日	89m ³ /人日

安全確保の取組・環境配慮・担い手の育成等

○安全確保の取組
 ・ミーティングにおいて、ヒヤリハットの共有に加え、地形データを活用してリスクアセスメントを実施
 ・衛星携帯電話の導入
 ・森林管理署、消防署合同の災害対策訓練の実施

○環境配慮
 ・原素SCRシステムを搭載したバックホウを導入し、事業地への環境負荷を低減・事業地の形質を考慮し、ごまめな排水対策を実行

○担い手の育成等
 ・ベテランと若手で伐倒を行うことにより、若手の技術の習得・向上

事業地の概要

●所在:山形森林管理署管内
 コハ清水外8国有林(山形県村山郡大江町)
 ●主要樹種(林齢):スギ・カラマツ(41年生～66年生)
 ●伐採面積:49.35ha
 ●伐採区画数:本数1,178本/ha、面積482nl/ha
 ●単木材積:0.39nl/本(平均幹高直径28cm、樹高17m)
 ●林地傾斜:22.3度

伐採の概要

●伐採方法:別状間伐
 ●伐倒立木材積:7,205nl(146nl/ha)
 ●集材立木材積:4,000nl(81nl/ha)
 ●利用率:56% ●平均集材距離:430m

ミーティング風景